

業種 人材ビジネス 所在地 和歌山市雑賀町61 TEL 073-425-3331 FAX 073-425-3600
 従業員 正規11名(男3:女8) / 非正規13名(男5:女8) ※派遣スタッフ含めず WEB http://c-blessyou.co.jp
 結婚・子育てのための取り組み 産休/育休/キッズスペース常設/他女性のライフスキルに合わせた働き方支援



私たちの仕事は企業や求職者のマッチング、キャリア形成のお手伝い。単なる人材供給のための職業紹介・人材派遣ではなく、人事コンサルという形の採用や転職・再就職の支援で様々な雇用問題の解決を目指しています。



個々のライフスタイルに応じてフレキシブルに女性のキャリア形成をサポート



何かあれば「試されている」と取り組むこと、子供公認の職場環境で働きやすく

女性は出産だけでなく夫の転勤など、男性以上に周りの環境による変化が大きいですね。弊社は人材派遣もしているので、産休や育休、退職の人たちのピンチヒッターを派遣している立場。当然両立支援の問題は人ごとではありません。そもそも立ち上げの頃からパートの女性が赤ちゃん連れで来てもらっていたりと、女性の働き方に関してはフレキシブルに対応してきたつもりです。企業内託児とはいきませんが、自分で面倒を見ながら仕事してもらおう分には子供連れで出勤してもらっても構わないというスタンスです。



代表取締役 / 東 正志さん

子供って、お母さんが働き始めると最初の1~2ヶ月は寂しくなるのか、熱を出すことが多いんで

す。だから、普段から職場に連れてきてもらって「お母さんはここで働いてるんだね」って安心してもらえた方が良い。忘年会も子供たちに来てもらっています。子供主体の子育て支援ではなく親が主体。お母さんが楽しめば、イコール子供も楽しいという考え方です。いろんな社員からの意見や相談を聞いて解決してきたことは、派遣や職業紹介の場でも役立っています。

何か問題が生じたら「これは試されてるんやな」と思い、どう解決するかを考えます。同じ解決策はありません。例えば、いま育休中の方は、うちの社員でありながら女性の両立支援をするNPO法人「ホッピング」を運営しています。世の中の法律やルールは時代とともに変わっていきます。そういった変化に合わせて、なんでもOKではないけれど、話を聞いて納得できることは取り入れていきたいと思っています。

過去のさまざまなケーススタディ

⚠️ 学級閉鎖や台風で学校が休みになった…

子供連れでの出勤をOKに。
キッズルームを設置し、学習支援の場やホッピングのイベントなどにも活用。

⚠️ 産休・育休で一時的に働き手が不足に…

自社で派遣登録している人に声をかけるなど、臨時スタッフで補充することで解決。それがきっかけで正社員になってくれる人も少なくない。

⚠️ 急なトラブルで出勤できなくなった…

お互いに気兼ねないように、連絡はLINEなどで行うことに。

⚠️ 子供の看病などで休みが続いてしまう…

場合により在宅でのリモートワークもOKに。ほかにも看病の間でも働けるように工夫を模索。

導入成功のアイデア

- リモートワークをするために、必要に応じてノートパソコンの持ち出しを許可。
- ビジネスチャットツールを用い、目的の事業ごとにチームで流れを共有しながら作業を進行。
- 何時に机に向かうなどの時間管理はせず、働いた時間は後日報告する形に。

⚠️ いずれどこかの段階で復帰して働きたい…

子育て中に派遣登録をしておいて、子供の成長や家庭の状況に応じて働けるように。

⚠️ 社員がNPOを立ち上げるようになった…

NPO立ち上げに際しても、会社に籍を置いたままで問題なし。

⚠️ 育休明けにフルで働くのは少ししんどい…

個々の状況に合わせた短時間勤務で、なるべく負担のないように配慮。

「お年玉」

年明けに子供と来たら お年玉がもらえるよ となったら「子供も来なくなるはず」というアイデアから始まった企画で、親子ともに好評。

Hop! Step! blessyou!



産休制度を利用しているコーディネーターの貴名さん

入社した頃は上の子が幼稚園児で、一緒に事務所に連れてきたり、自宅で仕事をさせてもらったり、フラットに対応してもらっていました。やりとりもLINEで「今日熱出ました」「オッケー」「家でやります」「了解」といった感じで。何日も続くと電話はお互い気を使うのでありがたいシステムでした。今も都度相談して受け入れてくれるという感じです。

自分が育休を取って考えてきたこともありました。男性も育休がとれ

その都度相談して考えてもらえる

る制度があり、収入をさほど心配しなくても大丈夫なことはあまり知られていません。実は使える制度はけっこうあるんですよね。今後出産に臨む人も、きちんと相談してその都度一緒に考えてもらうことをお勧めします。

